



- 代表者 代表取締役 須田 博
- 設立 2007年6月20日
- 資本金 315万円
- 従業員 2名（臨時社員等を含める）
- 電話 0942-72-8334
- FAX 0942-72-8334
- e-mail hsuda@pure.ocn.ne.jp
- HP-URL <http://www.ganzan.com/biobox/index.html>

●連絡担当者 須田 博

果実・農海産物を活用した商品開発をサポート

【事業概要】

ふとしたきっかけから規格外柿の商品化に取り組み約10年。柿以外にも開発対象を広げ、試行錯誤の日々を積み重ねています。実務経験を基にした果実・農産物（規格外を含む）を活用した商品開発の提案や事業組み立て、さらに加工技術ノウハウの提供を行っています。

【製品・サービス内容】

■久留米市の富有柿を活用した商品の事例

・道の駅くるめのオリジナル商品「くるめんべい」「柿飴」「柿シロップ」を順次開発。現在、道の駅くるめ、JR久留米駅で販売中です。

・原材料素材の柿ピューレ、柿シロップの用途拡大を検討中です。

*一時のブーム的な商品ではなく、末永く定着する商品を目指しています。

■商品開発の組み立てとサポート

全国各地で地域活性を目標に多くの人々が特産品や商品開発に取り組んでいますが、なかなか簡単な事ではありません。開発当初は夢や期待はどんどん広がりますが、いざ立ち上げると、一体何を作るのか？商品の特長は？製造実務から販売、情報発信云々、次々にテーマが出てきます。仮にこれらをクリアしたとしても売れるかどうかは別問題です。

特に近年のデフレ時の商品開発では、「ありきたりなもの」は価格競争だけに晒されてすぐに淘汰されます。まずは他にない「個性的なもの」でなければ生き残れません。

当社では商品開発を検討されている方々に対し、(株)元山（加工業務）と共に培ってきた実務経験を基にした果実、農・海産物（規格外品を含む）を活用した商品開発の提案や事業組み立てをお手伝いします。

■原料加工の検討と加工技術提供等について

生産された果実、農・海産物（規格外品を含む）の原材料化と有効活用の両面から検討を行います。原料加工については基本的に(株)元山で対応します。

尚、手持ちの農産物等に関し、原材料加工までご希望の方には、協議の上、加工技術の提供まで視野に入れて対応します。



地域資源等の

有効活用を提案

農産物・果実等の原材料化（一次加工）から商品開発の事例

農産物・果実(規格外含む)

一次加工(多用途原料)

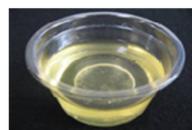
オリジナル商品開発



農工商等連携事業を
活用し商品開発



規格外富有柿



シロップ状



ピューレ状



土産品
(道の駅くるめで販売)



特定調味料
(道の駅くるめで販売)

柿飴
(道の駅くるめで販売)